

# 子どもを取り巻く「言葉」の環境問題

柴田学園大学短期大学部 保育科 佐々木典彰

TEL 0172-32-6151 FAX 0172-32-6153

顔写真等  
(希望者のみ)

e-mail n-sasaki@shibata.ac.jp

キーワード

子ども、親子、子育て、環境、言葉、マザリーズ、保育

子どもを取り巻く環境は、時代とともに大きく変化しており、親や大人が子どもに向けて発信する「言葉」もその一つです。言葉の力はとても大きく、言葉次第で子どもは変わります。

そこで私は子どもを取り巻く言葉がどう変わってきているのか、それを少しでも改善するにはどうすればよいかを研究しました。これはSDGs「3 すべての人に健康と福祉を」に関連します。



表 1 最近の親から子への言葉について感じること

内容	回答者数
言葉の数が減った	18人
子どもに無関心・自分優先になった	17人
大人口調・単語のみになった	16人
乱暴な言葉になった	10人
表情が乏しくなった	10人
かける言葉がわからなくなった	8人

左の表 1 は、愛知県の保育者を対象にしたアンケート調査(佐々木・児玉, 2015)の結果です。

親から子への言葉が、少なく、貧しいものになっている可能性があることがわかりました。

そこで共同研究として、子どもの大好きな語りかけ方(マザリーズ)を身につけるためのレッスンプログラムを作り、それが役立つかを実験しました。その結果、図 1 の通り、レッスンを受けた人たちはマザリーズをよく使うようになる可能性が示されました(佐々木ら, 2015)。

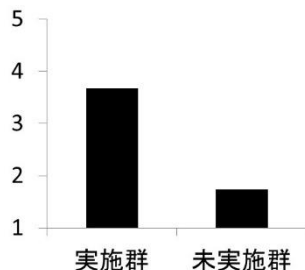


図 1 マザリーズ得点(表出)の比較

## マザリーズとは?

子どもが大好きな語りかけ方のこと。

1. 高めのトーン
2. ゆっくり
3. 大きな抑揚

などが特徴。児玉珠美氏が全国各地で親子教室を開き、マザリーズの大切さを伝えている。